

ボジョレー速報 2014年

2014年の収穫がついに始まる！今年は、前半は開花も順調に終わり、ここ数年、ブドウの成長不順で押しつぶされていたエネルギーが一気に爆発したかのように成長に勢いが見られた。

ところが、7月後半に入り一転、雨が多く気温の上がらない不安定な天気が続き、ブドウの成熟にブレーキがかかった。だが、収穫直前の8月後半から天候が見事回復！ブドウは腐敗を最小限にとどめ、成長の遅れを一気に取り戻しつつある！まさに、天が最後の最後に与えた奇跡！

いよいよ最終局面！収穫直前に備えるカリーム、ジャン、フレッドの意気込みをレポートします！

☆ カリーム・ヴィオネ

収穫は9月12日からスタートする予定だ。6月10日、7月13日、そして8月5日に、ヌーヴォーの畑のあるランシエ村に雹が降り、80%ほど被害に遭った…。そのため今年は、雹の被害を免れた故ジュール・ショヴェの「シャペル」の区画のブドウが必然的にヌーヴォーのメインのブドウとなる。

今年の夏は雨が多く畑が常にぬかるんでいたため、思うように土お越しやボルドー液散布ができなかったが、思っていた以上に病気の被害は少なく、しっかりブドウの実がなっている。ただ、一部ブドウの腐敗がすでに始まっているところもあり、収穫本番では厳格な選果が必要になるだろう。

現在のブドウの潜在アルコール度数は11.5%。9月9日に1日で50mmを超える滝のような豪雨に見舞われたが、今のところ収穫には支障がなさそうだ。

今年も例年通り、酸が豊富で果実味がエレガントなタイプのワインを目指しているが、今年は新たにジュール・ショヴェのブドウが加わることで、さらに洗練された味わいになることを期待したい！

(2014年9月10日訪問)



ジュール・ショヴェのブドウ！



収穫直前！
カーヴはきれいに整理されている！

☆ ジャン・フォワヤール

収穫は9月11日にスタートする予定だ。今年は7月中旬から天候が崩れ、気温の上がらない不安定な天気は8月終わりまで続いた。その影響でヴェレゾンがまちまちだったが、9月に入り一転天候が回復し、気温も一気に夏に戻ったかのように上昇したおかげで、今はブドウの成熟差もほぼなくなりつつある！9月9日の深夜に降った豪雨で、一瞬雹の被害を心配したが、幸いなことに雨だけで済んだ。ブドウは腐敗が少なくほぼ健全な状態で、収量は今のところ40hl/ha前後を予想している。

房自体は、夏が涼しかったため比較的小ぶりで、ブドウの糖度は11.5%前後とそれほど高くはないが、全体的に味も酸もしっかりとある！今年は仕込みに少し時間的な余裕があるので、いつも以上に上品でエレガントなヌーヴォーが期待できそうだ！

(2014年9月10日訪問)



ブドウは種が熟している！



きれいで、実付きがよい！

☆ フレデリック・コサール&ケヴィン・デコンブ

収穫は9月13日からスタートする予定だ。今のところブドウの腐敗はほとんど見られず、収量も見た目で45~50hl/haはとれそうなくらい房が十分についている！今年は8月まで雨が多く気温の上昇しない天候が続き、夏らしき夏がないと思われたが、9月に入り一転、連日気温が30度前後の快晴に恵まれている！ブドウも今までの成熟の遅れを一気に取り戻すかのように毎日順調に糖度が上がっている。それと同時に酸が全く落ちていないので、今年はこのまま何も無く無事収穫までたどり着くことができれば、初年度から理想のヌーヴォーが期待できそうだ！

我々のヌーヴォーは、軽く微発泡した軽快さがあり、またミネラリーで果実味がエレガントな仕上がりをイメージしている。まさにブドウそのもののピュアな果汁が詰まった出来立てのワイン！その実現のために、シャソルネイの醸造技術の全てを総動員するつもりだ！（2014年9月10日訪問）



ジューシーなブドウ



準備万端！

このレポートの取材が9月10日で、まさに収穫の直前だった！前回の厳しいレポートとは一転、今回は3人とも表情が非常に明るく、良いミレジムが期待できそうだ！あとは醸造で存分に真価を発揮していただきたい！皆さま是非ご期待ください！今年は新たな取り組みがあり、解禁日がとても待ち遠しいですね♪

ボジョレー速報 2014年

現在ブドウはヴェレゾンの真っ最中で、収穫へのカウントダウンも始まりつつある状態だ！2014年は、前半は開花も順調に終わり、まるで長く押しつぶされていたエネルギーが一気に爆発したかのようにブドウの成長に勢いが見られた。だが、7月後半に入り一転、雨が多く気温の上昇しない不安定な天気が続く、ブドウの成熟にブレーキをかけている。このままの天気が続けば、ブドウの腐敗リスクが高まり2012年、2013年のような厳しいミレジムとなるのは必至だ。

しかし、これから天気が回復すれば、まだまだビックヴィンテージの可能性も十分にある！

際どい天候の中、カリーム、ジャン、そして初リリースのフレッド&ケヴィンは果たしてどのような対策を講じているのか！？

☆ カリーム・ヴィオネ

2014年も一転厳しい年となりそうだ…。6月10日の雹害は面だった被害はなかったが、7月13日の2回目の雹は勢いが強く、ボジョレー・ヴィラージュ「KV スペシャル」の畑を襲い壊滅、さらにヌーボーの畑「ランシエ」も2割ほど被害を受けた。さらに、7月17日、18日の猛暑！西日を受けたブドウの粒が焼けて茶色く変色してしまった。それだけではなく、極度のストレスからか、果梗自体が枯れてそのままブドウが房ごと落ちてしまうような現象があった。昔を知っている古いヴィニョロンも、未だかつて経験した事の無い現象のようだ。この猛暑のショックのあとは冷夏と長雨。6月終わりまでの天気が嘘のように不安定な天候が8月13日現在も続いている。

開花は一気に終わり順調だったにもかかわらず、ここに来てヴェレゾンにバラつきが見え始めている。収穫は9月12日前後を予定。ここから収穫まで天候が良ければ、それなりに均等にブドウが熟してくれるだろうが、もし現在のような悪天候が続けば、ブドウが熟す前に腐敗が蔓延してしまうかもしれない。いずれにせよ、今できることは、ブドウのまわりに湿気を溜めこまないように、雑草を手で刈るしかない。

一方、故ジュール・ショヴェが所有していた区画の「シャペル」は土地自体のポテンシャルがあるのか、雹や猛暑の被害もなくブドウの腐敗はほとんど見られない！今年はヌーボーにアッサンブラージュする予定なので、最終的にシャペルがヌーボーの品質を高めてくれることに期待したいところだ！（2014年8月13日訪問）



ヴェレゾンがまばらなブドウの房



雨が上がり、日が差し込んでいる

☆ ジャン・フォワヤール

今年の収穫は9月5日～10日の間を考えている。今年は去年と違い開花がスムーズに進み、ブドウの病気も全くなく7月初めまでは全てが順調だった。だが、7月中旬から天候が崩れ、8月13日現在までほぼ1日おきに雨が降り、気温も日中の平均が20度を下回るなど冷夏が続いている。ヴェレゾンは7月15日辺りから本格的に始まったのだが、約1ヶ月経った現在で3割も終わっていない状態だ。2014年のブドウは、7月13日に降った雹により一部被害があったのと、7月17日の猛暑で一部焼けてしまったのを換算して当初の予想よりも2割く

らい減りそうだが、今年はや々のブドウの量が多いので、これから収穫まで何も問題がなければ、30hl/ha～40hl/ha と例年並みの収量は見込めそう！今のところ確信はできないが、これから収穫まで気温が上がり好転することを祈るしかない！**2014年8月13日訪問**)



ブドウの実付きはよい！



色づきはじめてのブドウもある

☆ フレデリック・コサール&ケヴィン・デコンブ

7月までは天候にも恵まれ、ブドウも病気ひとつない最高の状態を保っていたのだが、7月中旬から天候がどうもおかしい…。7月17、18日には突如夕方の気温が40度まで上がり、西日を直接受けたブドウが焼けたように黒く干上がってしまうほどの猛暑に見舞われたかと思うと、それから一転して毎日のように通り雨が降り続き、今も畑はぬかるんだまま。8月13日現在も真夏だというのに日中パーカーが手放せないくらい気温が涼しく、ブドウにとって過度なストレスのかかる状況が続いている。

この環境の中、とにかくブドウの腐敗原因である湿気を取り除くことが先決だが、我々は雑草が畑の余分な水分を吸い上げるポンプの作用を活かし、あえて雑草を刈る頻度を減らして残している！ただ雑草がブドウにかかるくらい成長すると、ブドウの実のまわりに湿気が溜まり、返って腐敗しやすいので、その頃合いを見て一気に刈る。このある程度伸ばして刈る作業を地味に繰り返している。また芽かきや夏の選果などをまめに行い、常に風通しの良い環境をつくり上げていたため、今のところ猛暑でブドウが焼けただけ以外に腐敗は全く見られない！

収穫は当初8月28前後に考えていたが、ヴェレゾンが進んでいないので、おそらく9月10日～15日まで待たなくてはならないだろう。予報では8月18日頃から天候が回復に向かうとのことなので、ここからのブドウ成熟のラストスパートに期待したいところだ！**(2014年8月13日訪問)**



完璧なヴェレゾン！



もうすぐ雨が振りだす！！

前回の当たり年を予感させるレポートとは一転、ここに来て2012年、2013年を思い起こさせるような厳しい天候が続いているようだ。収穫まで1ヶ月を切った今、ただただ天候の回復を祈るのみ！！次は収穫直前のレポートをお届けします！

ボジョレー・ヌーヴォー速報 2014年

今年もボジョレー・ヌーヴォーの季節がやってくる！

2012年、2013年と厳しいミレジムが続く中で、期待以上の高パフォーマンスを見せた、カリーム、ジャン、そしてフレッドのヌーヴォー。2014年は、前年と打って変わり、ブドウの成長に勢いが見られる！まるで近年押しつぶされていたエネルギーが一気に反発したかのようにぐんぐん成長をしている！開花も全て順調に終わり、成長サイクルとしては収穫の早かった2011年を彷彿させる。このまま天候に支障がなければ豊作、早期収穫に期待が持てる！

そして今年一番のニュースは、やはりなんと言ってもフレッド。長年親しんだラパンを離れ、新しくケヴィン・デコンブとタグを組みヌーヴォーに新たな旋風を巻き起こす！また、カリームは一昨年借り入れた故ジュール・ショヴェの畑のブドウを新たにヌーヴォーにアッサンブラージュする予定だ。今年は楽しみな話題が満載だ！

☆ カリーム・ヴィオネ

2014年は、今のところ開花も全てうまく行き、ブドウの実がたわわになっている！このまま行けばビッグヴィンテージが期待できそう！その証拠に、私の所有するフルーリーに隣接する畑に古いサ克蘭ボの木が1本あるのだが、6月25日現在でもまだ実が落ちずになり続けている。通常5月には季節の終わるサ克蘭ボだが、今年は春が暑かったのにもかかわらず1ヶ月も実がなっているのだ！食べてみると完熟しているのにまだしっかりと酸がありとても美味しい！ブドウもサ克蘭ボも同じ果物。事実、私の畑では、サ克蘭ボの実の持ちが悪くと大抵ブドウも同じく持ちが悪く、逆に持ちが良ければブドウもしっかりと成熟しやすい。まあ、あくまで目安のひとつではあるが、それでも今年のように6月終わりくらいまで完熟しても実が落ちないのはとても珍しいことだ！

6月10日に雹が降り、ヌーヴォーの区画のひとつ「ランシエ」が被害に遭いブドウに軽くシミをつくったが、今年はさくらんぼのように耐性があるのか、一度黒くシミとなった部分も今はすっかりとれてきれいになっている！

今年は、「シャペル」というムーラン・ア・ヴァンに隣接する故ジュール・ショヴェが所有していた区画のブドウもヌーヴォーにアッサンブラージュする予定だ！（2014年6月25日訪問）



しっかり結実している



この日も快晴！

☆ ジャン・フォワヤール

今年の開花は5月20日頃から始まった。去年と比べるとちょうど1ヶ月も早い！開花は2、3日とあっという間に終わり全てうまく行った。雨は6月10日に40mm、6月17日に11mmの局地的な雷雨が降ったきりで、5月から約2ヶ月降っておらず、病気も見られない！現在畑は多少乾燥気味だが、それでも地中には冬にたくさん降った

雨の貯蓄があるおかげで、依然ブドウは生き生きとした状態を保っている。ただ、ブドウの場合雨が重要なのはこれから収穫までの間で、この間に乾燥しすぎるのも良くないし、雨が多すぎるのももちろん良くないが、ヴェレゾンの前と収穫前に少し雨が降ってくれることは大歓迎だ。

このままのペースでいけば収穫は9月5日前後。夏の天気が良いければ、もしかしたら8月終わりになるかもしれない。今のところはブドウの房もたくさんあるし、病気もほとんどないので順調な限りだが、過去2年間の災難を思うと、楽観視せず収穫まで気を引き締めていきたい。(2014年6月25日訪問)



ブドウは勢いよく成長！



早ければ7月中旬にヴェレゾン開始予定

☆ フレデリック・コサール

9年続いたラパンを離れ、今年からケヴィン・デコンブと一緒に新たなニューヴォーを手掛ける！コンセプトはシャソルネイのようなエレガントなニューヴォーだ！新しいエチケットに本家シャソルネイのデザインを選んだことから分かるように、私自身シャソルネイのプライドにかけて最高のニューヴォーをつくり上げるつもりだ。

ちなみに、今回のニューヴォーは全て買いブドウで仕込む予定だ。買いブドウは、良いブドウだけセレクトできるという利点があり、多少値が張るが、買い先がしっかりしていれば、毎年安定して高品質のブドウを確保できる。最終的に我々の厳選する買いブドウで仕込むことに決定し、とても満足している！買いブドウ生産者は、もちろん我々と同じエスプリを持っているヴィニョロン。そして、シャソルネイのネゴスと同じように、栽培から収穫まで介入できる生産者を選んでいっている！現在、ケヴィンがフットワークよく買いブドウ先の状況を見て回っている。私の経験とケヴィンの才能、そして2人の情熱を注いで、日本の皆さんがアッと驚くような、とびきり美味しいニューヴォーに仕上げてみせる！



ケヴィンはボジョレーのコサール？



ケヴィンのドメーヌの畑も順調！

ここまで、2014年は大いに期待できそうだ！だが、油断は禁物！6月28日深夜にブルゴーニュのコート・ド・ボヌー帯が3年連続となる大規模な雹の被害があった。天気が良く気温が高い分、これからも突然の雷雨と雹のリスクはまだまだありそうだが、次回も朗報をお伝えできると信じています！次回のレポートをどうぞお楽しみに！！